



にぎわいXing 運営計画提案書

八軒家浜から発信する「更なる川辺の賑わい」可能性の提示

NEXT STAGE 2014.04.01. →

2014年3月

にぎわい Xing 運営管理事務局

2014.04.01. → NEXT STAGE 水都大阪のフラッグシップへ



- ・ 機能性向上
- ・ 快適性向上
- ・ 賑わい向上
- ・ 広報機能向上
- ・ 安全安心防災拠点
- ・ 地域連携向上

2期を経て浮き彫りになった課題を、行政・民間と協働し、可能性に変換

にぎわい Xing

NPO 法人大阪水上安全協会
 大阪水上バス 大起水産
 ランドマーク・ジャパン RETOWN
 全日本ルディックワーク連盟
 水上さんぽ実行委員会

課題「更なる水辺の賑わい」への取組み

- XingGarden の集客・魅力向上
- アクセス情報提供(広報宣伝)
- シーズンオンのアクション動機づけ
- イベントミックスの多様化
- 陸上部(歩車道)からの導入ルート改善

課題「川の駅はちけんや」を核とした広域連携と後背地(周辺地域)との関係強化

- 水都大阪コアエリアとしての進化(PR)
- 八軒家浜を「出発点」とした舟運コンテンツ

課題「川の駅」本来の設置目的に合致したコンテンツ開発と運営実態

- 水上安全の啓発
- イベント使用時の各種許認可申請
- 展示室の空洞化
- テラス利用消化不良



行政

水都大阪オーソリティー(コーディネート)
 大阪府(河川敷・河川管理)
 大阪市(公園管理)



民間

地域住民・企業(北浜東振興町会など)
 (株)はちけんや(施設管理)
 水都大阪パートナーズ(水辺の賑わい創出事業者・中域連携強化)
 大阪商工会議所(中域連携強化)



「にぎわいXing」は、**2010年7月**から全日開催を掲げ、取り組んできました。

業務報告書における施設利用者（*有料利用者/閲覧者のみ）の伸びは確実に増え、日を追うごとに知名・認知度も上がり、地域との繋がりも良好に推移しています。

過去の事業実績に基づき、課題と今後の取り組みについて年間運営計画として提示し、「川の駅はちけんや」本来の設置目的と合致しなおかつ「にぎわいXing」の魅力向上を図り、着実に継続的な発展に繋げていきたい。

1. 更なる賑わいへの取り組み

- ◇河川施設「川の駅」としての情報発信
- ◇水辺の景観を活かした「はちけんや」の賑わいづくりに寄与するコンテンツの開発・実施
- ◇「にぎわいXing」陸上部（歩車道）からの導入ルート改善策
- ◇ハイシーズン（5月～10月）における高水敷・テラスの活用

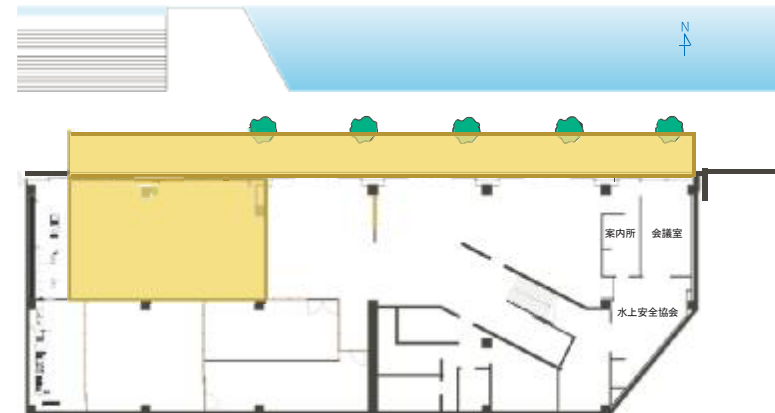
2. 広域連携と後背地（周辺地域）との関係強化

- ◇水都大阪整備事業（中之島GATE、ほたるまち、大阪城港等）と「はちけんや」の広域連携・立体化への取り組み
- ◇水辺と後背地（周辺地域）との連携協同を促すコンテンツの開発・実施

3. 「川の駅」設置目的に合致したソフト開発と仕組みづくり

- ◇「川」を含めた水辺景観への興味関心を高めていくコンテンツの企画開発

▽展開エリア



▽展開エリア（テラス）

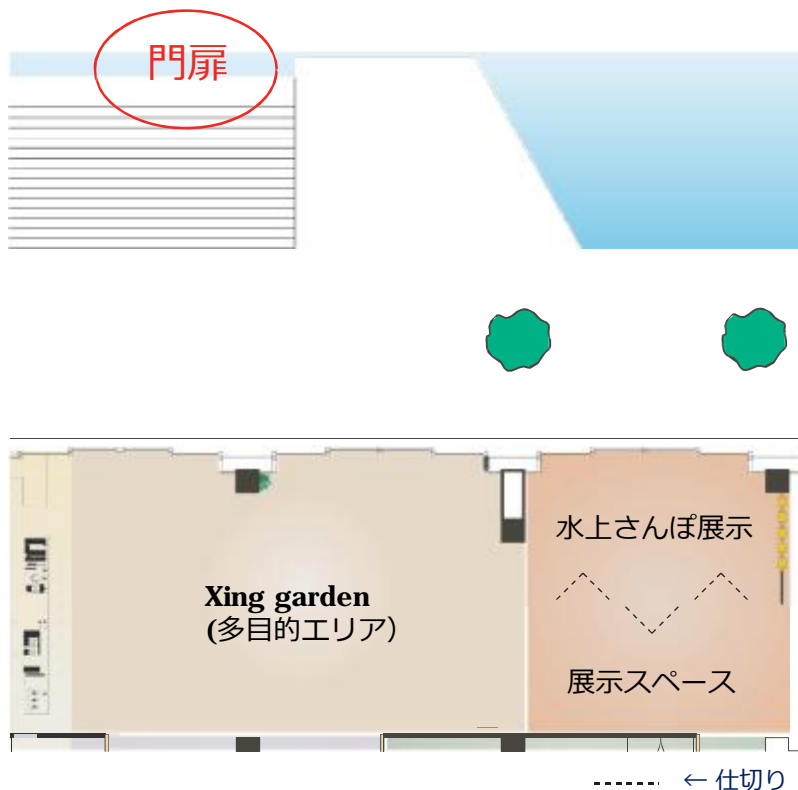


2014年3月、春の定例行事となっていた「川開き」は、にぎわいXing運営事務局メンバー（大阪水上安全協会、大阪水上バス、水上さんぽ実行委員会など）が核となって民間の自主運営開催として引き継いでまいります。

2011年7月から「川の駅はちけんや」の運営を手がけてきた共同運営体「にぎわいXing」は、今後も「川の駅」の設置目的に合致した試みと実績を積み重ね、周辺地域とともに水辺・水上の賑わいと安全に寄与していきたい。

「恒常的な」「先進的な」「水都大阪的な」水辺の賑わい形成のために

「水辺の情報発信」「水辺のスポーツアクティビティ」に特化したコンテンツ・ゾーニングを「にぎわい Xing」に新設



水辺の情報発信

- 情報発信ゾーン（展示室）の有効活用を図るため、「水上さんぼ（パドルボート）」常設展示を行い、恒常的な「水辺の情報」の掲出・発信を図る。
 - 水都大阪関係者との交流の場と機会を設け、水辺の情報発信環境を整えていきます。
- ゾーン区分
- ① 展示室を「水辺の情報発信スペース（パドルボートや水辺の情報発信）」と「展示スペース」に区分。
 - ② 展示スペースを最大限に使用したい利用者が出た場合は、都度協議の「水辺の情報発信スペース」を最小化し運営。
 - ③ 多目的打ち合わせスペース（**Xing Garden**奥）を活用した交流促進環境の提供

▽提案時のイメージパース



水辺のスポーツアクティビティ

活動エリア：雁木門扉を起点とした川面

管 理：水上安全協会（にぎわい Xing 施設管理）

運営管理：水上さんぼ実行委員会

（にぎわい Xing 管理運営事務局）

活 動 者：非動力船（事前に許可を得た者のみに限る）

備 考：門扉使用者から利用管理料を徴収 動力船の利用
要望については、協議のうえ可否決定。

〈川・まち・ひと〉の様々な可能性が、あつまり、ひろがることで真の賑わい創造拠点へと深化する「川の駅・はちけんや」水辺の景観を生かしたさまざまな「水上アクティビティ」、第一月曜日に開かれる「浜市」、内外から訪れるウォーカー達の拠点「ノルディック協会」、水辺のカフェ「Xing GARDEN」で繰り広げられるパーティーや各種フォーラムなど、約2年間を通じて「川の駅・はちけんや」に相応しいコンテンツを開発実施してきました。

2014年以降の取組みについては、より広域に、そして水辺の景観を生かした新しいコンテンツを開発し、リピーター層に加え新しいトライアル層の獲得・積み重ねが、更なる賑わいの創出に繋がるものと考えます。

水辺の景観を生かした八軒家浜NEW CONTENTS

はちけんや「花市」 HACHIKENYA FLOWER BAZAAR

はちけんやの水辺景観と季節の「花々」が賑わいと彩りを醸し出す新たな水辺環境を創り出していきます。

- 開催日時:2014年5月、7月、9月、11月(予定)
- 開催場所: Xing Garden、高水敷・テラス、
- 協力(案):株式会社大阪鶴見フラワーセンター
市内フラワーアレンジメント教室

はちけんや「花市」を開催する上で、花卉流通協力者(*大阪鶴見フラワーセンター)との各種調整を経た上で、市内外の出展者を募り、新しい季節の花に彩られた水辺景観を創り出していきます。

(*現状、3月末から「川開き」が南扇町公園の桜の開花に合わせて開催。「川開き」と共に大勢の来場者が「はちけんや」を訪れ恒例行事となっている。)

「はちけんや」の集客コンテンツである「浜市」に新たに「花市」が加わり、更に賑わいと季節感を演出する更なる賑わいを創り出していきます。



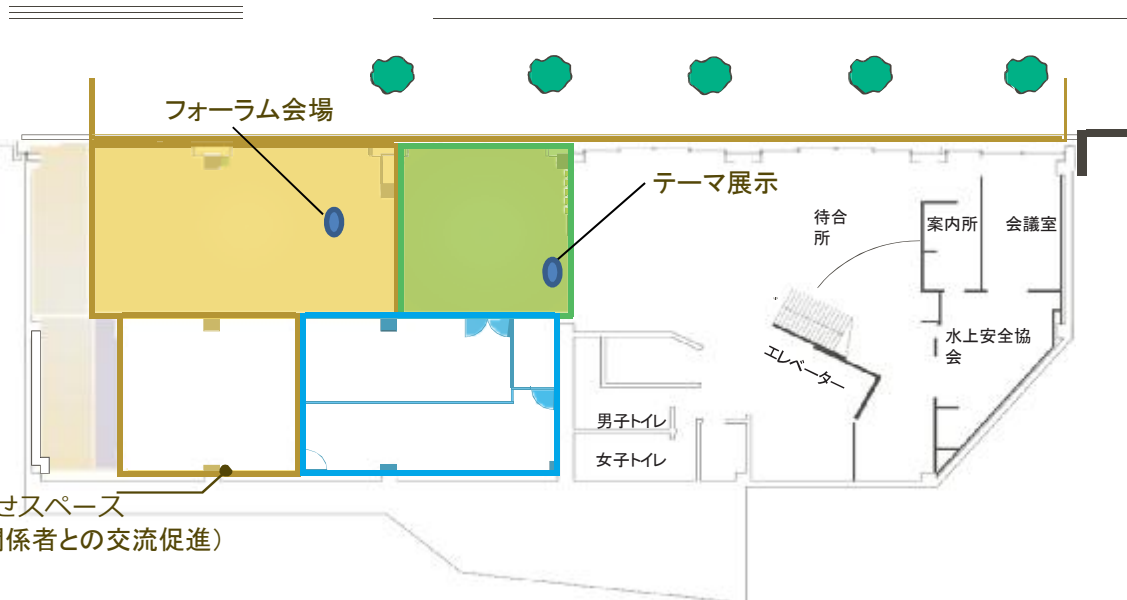
【情報発信ゾーン】

開業当初より、「川」「舟運」「水辺景観」「水辺の安全安心啓発」などをテーマに各種の展示会を開催。これらの展示会も継続して行うものの、より立体的で「舟運・観光」「水辺景観」「防災」「地域コミュニティ」をテーマに展示会&フォーラムを開催。
 「川の駅はちけんや」の設置目的にも合致したフォーラムを継続的に行い、識者や参加者を琵琶湖淀川水系などの広域に求め、交流促進を図っていきたい。

はちけんや水辺フォーラム

河川及び水辺の「知」サロンとしての育成・定着化策

- 開催場所：「川の駅はちけんや」情報発信&交流賑わいゾーン
- 開催日時：2014年6月、8月、10月、2015年2月（年度4開催）
- コーディネーター：与謝野 有紀（関西大学社会学部教授）
- テーマ：
 - 第1回「水の回廊と舟運観光」
 - 第2回「水景と魅力づくり」
 - 第3回「川の駅はちけんやと地域防災の考え方」
 - 第4回「水辺のコミュニティづくり」



過去に利用実績のある団体・グループ、「河川」「水辺」に関連する活動グループへの利用促進を図り、更なる「知」の交流促進を図る。



【賑わい交流ゾーン】

「はちけんやウォーキング・ステーション（全日本ノルディックウォーク連盟）」は、季節を通じて市内外からウォーカーが集い水辺周辺の散策を楽しむ風景は、はちけんやの名物となってきています。このステーションを核に、大阪城、熊野古道、中之島等へのウォーキングコースが設定され、徐々に日常化されており、参加者の裾野も徐々に広がってきています。

水辺のウォーキングコースの設定

「はちけんやウォーキング・ステーション」を基点（マイルストーン）とし、昨年7月より全日本ノルディックウォーク連盟（本部ノルディックウォークセンター）より正式に認定されたJNWLステーションとして積極的に活動している。この全国組織のネットワークを駆使し、はちけんやを基点とした「水辺のウォーキングコース」を設定し、マンスリーで継続的に展開していきたい。

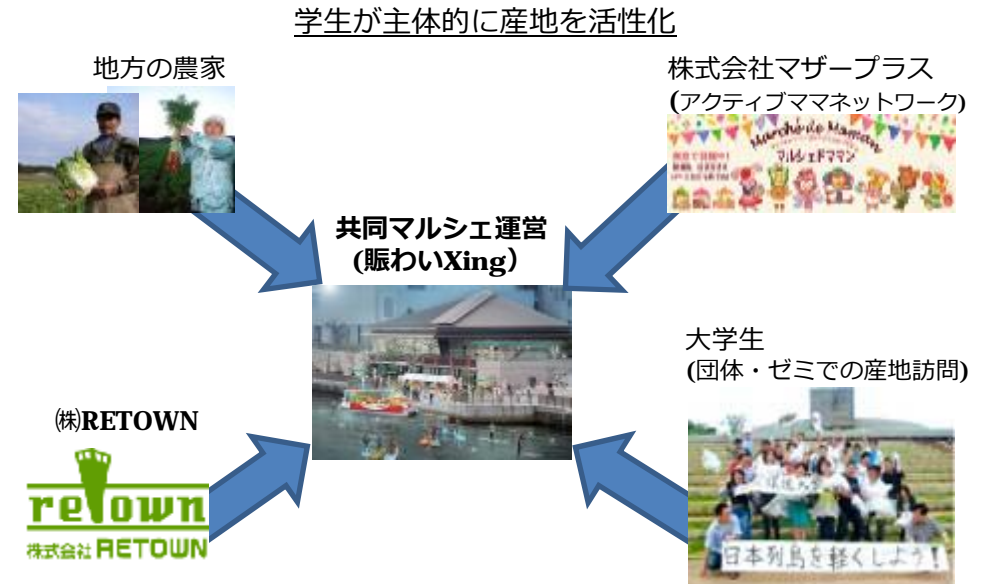
- 開催時期 毎月第1日曜日（*浜市と連動展開）若しくは単独開催
- 推奨コース（案）
 - ：八軒家浜から中之島、大阪城、四天王寺、中央卸売市場など
- 主管 全日本ノルディックウォーク/本部ノルディックウォークセンター



賑わい創出イノベーション 産地 × 学生 × Xing Garden 「共同マルシェ」

Xing Gardenを運営する(株)RETOWNは、食材を近畿の約30軒の農家から直取引による新鮮な食材を調達するネットワークを持ち、学生やアクティブママネットワークによる産地連携活動を行っています。産地×学生× Xing Gardenの組合せによる「共同でのマルシェ」を開設し「浜市」「花市」などと同様に「賑わい創出」を図っていききたい。

- 開催時期 2014年夏、秋開催
- 主管 株式会社RETOWN
- 展開エリア Xing Garden、テラス等



更なる賑わい創出への取り組み にぎわいXing導入部の改善と高水敷・テラスの活用

「川の駅はちけんや」への導入部からは、**B1**「にぎわいXing」の内容を窺い知ることが出来ず、車歩道を往来する数多くの一般市民（潜在顧客層）への知名・認知を妨げている現状があります。
建物の美観を妨げることなく、水辺へ誘うような新たなサイン計画を検討していきたい。

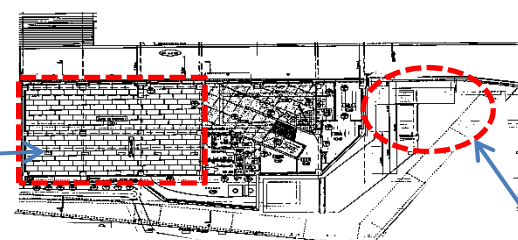
■高水敷の活用

御払い筋から天神橋、中之島公園と続くルートは、年々利用者が増えています。この流れを止めないような形でテラスの「ピアガーデン」や「花市」などの活用で魅力的な水辺景観を創り出していきたい。



■1F駐車スペースの活用

現状、平時は活用されておらず、不法駐輪などが時折見られる。日常の利活用を図ることで駐輪対策及びメンテ等の管理行いたい。又このスペースを「にぎわいXing」イベント開催時に、受付や出店等の活用を図り、水辺への動機付けを促していきたい。



■テラス/高水敷

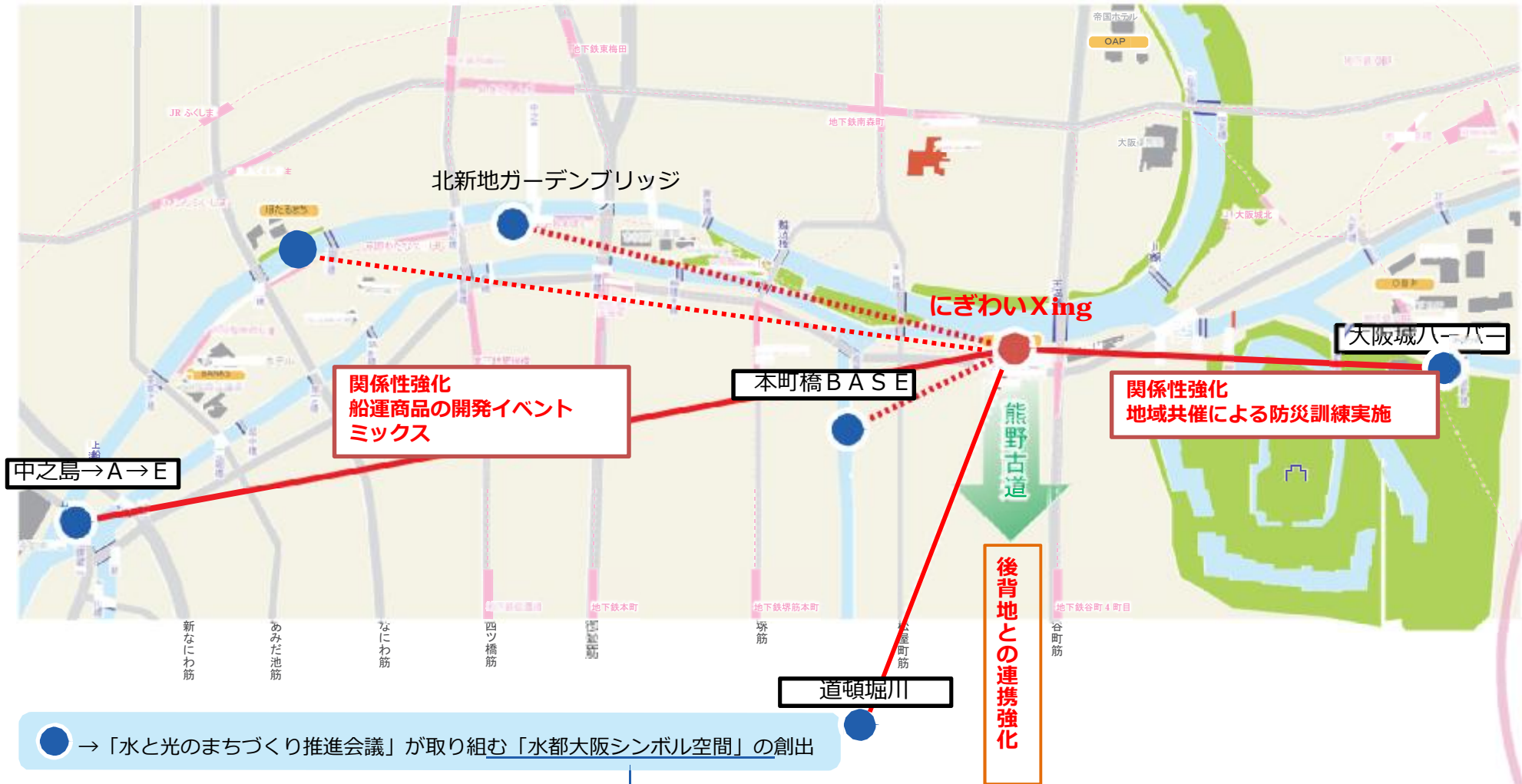
■1F駐車スペース

2. 「川の駅はちけんや」 広域連携と後背地（周辺地域）との更なる連携協同への取り組み

経済的・広報的な事業拡充のために、東西軸（中之島 GATE ～大阪城）に重点を置いた中域連携を展開。

中之島 GATE とは、川の繋がり（堂島川・土佐堀川）に特化した舟運商品の開発や、両エリア（GATE/Xing）で開催されるイベントミックス。

大阪城ハーバーとは、地域共催による、陸と川からの防災訓練を実施していきたい。



● → 「水と光のまちづくり推進会議」が取り組む「水都大阪シンボル空間」の創出

水の回廊のポテンシャルのある地域に新たにシンボル空間を創造し、大阪の主要集客拠点とつなぎ 回廊の魅力を高めるよう、各地域で水辺空間を活用した賑わいづくりを形成する取組

現状、定期就航している航路に加え、中之島全体で整備の進んでいる「中之島GATE」「中之島BANKS」「ほたるまち」等を取り込んだ中之島周遊の「ワン・デイ・リバー・シャトル (ODRS)」を社会実験として運用を検討していきたい。

ONE DAY RIVER SHUTTLE ワンデイ・リバー・シャトル (社会実験)



- 社会実験運営主体
大阪水上安全協会、大阪シティクルーズ推進協議会、大阪水上バスなどを中心に「ワン・デイ・リバー・シャトル (ODRS)」検討会を設置し、社会実験として各種申請、各船着場、周遊コースなどを検討し、大阪の新しいインバズ・コンテンツとしての需要を探っていくたい。



熊野古道ウォーク

「川の駅はちけんや」は、古の時代から京都から淀川を水路で下り陸路・熊野へ向かう上陸地点であり、江戸時代には物資や人や情報の結節点でもありました。このような由緒ある歴史に鑑み、現代においても往時の賑わいを取り戻すべく、「川の駅はちけんや」を拠点とした熊野古道ウォークを開催していきます。

- 開催日時 2014年10月19日(日) 10:00~15:00
- 開催ルート (約5km)
川の駅はちけんや⇒永田屋昆布本店(はちけんや船着場跡)⇒御祓筋
⇒第一窪津王子・坐摩神社行宮⇒第二王子・坂口王子⇒第三王都戸子高津宮
⇒生國魂神社⇒第四上野王子跡⇒大江神社⇒四天王寺
- 主催・共催 にぎわいクロッシング運営事務局
全日本ノルディックウォーク/本部ノルディックウォークセンター
- 協力 関西・大阪21世紀協会、生國魂神社、四天王寺、京阪電鉄ほか
- 併設展示 2014年10月10日(金)~10月19日(日)
「はちけんやと熊野古道展」(クロッシング展示室)
- 参加者 全日本ノルディックウォーク会員(全国から)
一般参加者(にぎわいクロッシング参加者受付)

「熊野古道ウォーク」の試験開催を経て、四季折々の定例開催、四天王寺から住吉大社ルートなど、はちけんやの歴史に因んだ開催コースの開発検討していきたい。



3. 「川の駅」設置目的に合致したソフト開発と仕組みづくり

2010年7月開設以来、北浜東振興町会を中心に周辺事業者との協議を重ね、八軒家浜アドプトリバーなどの活動を通じて徐々に周辺地域と「川の駅はちけんや」の良好な関係づくりに努めています。

現状、大阪水上安全協会傘下の加盟各事業者間での安全講習会を「はちけんや」「中之島GATE」「ほたるまち」「大阪城港」「本町橋BASE」「道頓堀」各拠点の参画を得て、水の回廊全体に水辺・水上の安全啓発を行う講習会を地域や住民の参加を得て、定例的に開催していきたい。

水辺・水上安全講習会

- 開催日時 2014年 ①5月 ②9月 2015年 ③1月
- 開催場所 川の駅はちけんや にぎわいXing展示室/Xing Garden
- 主催共催 大阪水上安全協会、大阪シテイクルーズ推進協議会
- 地域協力 北浜東振興町会

水辺の防災を地域で考える（広域連携強化）

「川の駅はちけんや」を始め、防災栈橋各拠点を網羅したゆるやかな連合体を設置し、災害時対応や地域との連携等を協議していきたい。

- ex) ■広域災害拠点「大阪城公園」と「大阪城港」の関係と役割について
- 「はちけんや」と地域との災害時協定について
 - 災害時の舟運事業者と地域との連携について



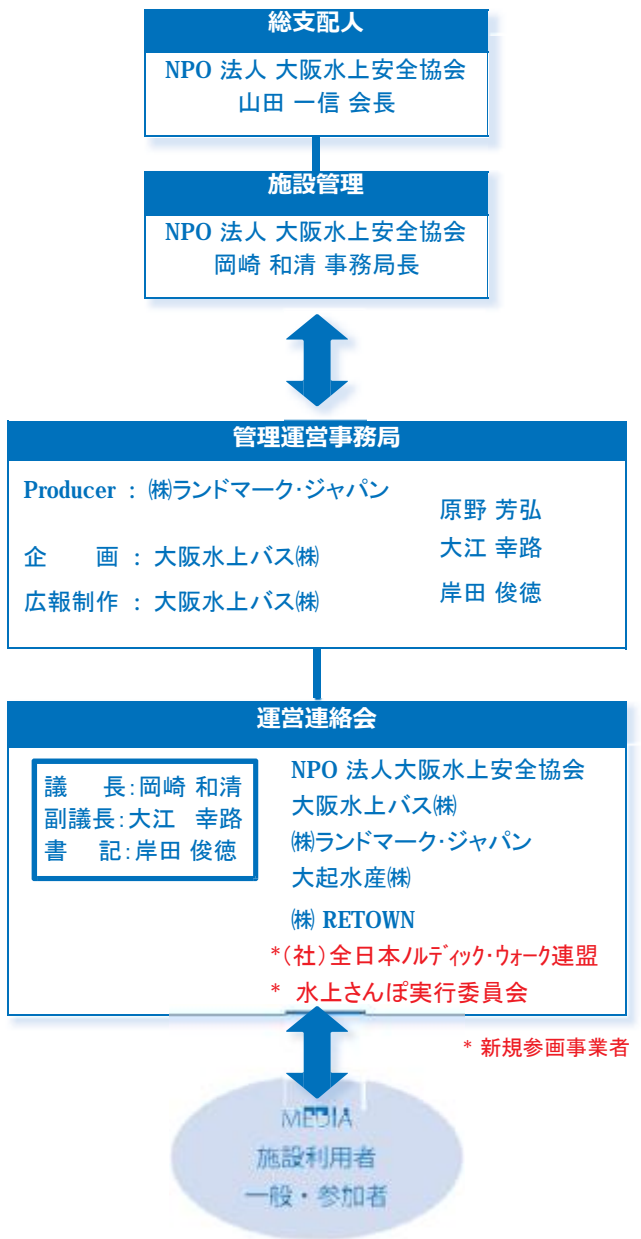
年間運営計画



CONTENTS	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【常設イベント】	◆レガッタ大会 ◆「川開き」 「浜市」 「浜市」 「浜市」			◆天神祭 ◆平成OSAKA天の川伝説 「浜市」 「浜市」 「浜市」			◆「水上パレード」 「浜市」 「浜市」 「浜市」			◆水都大阪「冬イベント」 「浜市」 「浜市」		◆「川開き」 「浜市」
【新規イベント】 ①「はちけんや花市」 ②「はちけんやリバーフォーラム (HRF)」 ③「ノルディックウォーキングイベント (NWE)」 ④「ワンデイ・リバー・シャトル (ORS)」 ⑤産地・学生・Xing共同マルシェ (PSXCM)	◆NWE	「花市」 ◆NWE	◆HRF ◆NWE	「花市」 ◆NWE ◆ORS	◆HRF ◆NWE ◆ORS	「花市」 ◆NWE ◆ORS	◆HRF ◆NWE ◆ORS ●マルシェ	「花市」 ◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆HRF ◆NWE	◆NWE
【情報発信ゾーン】 (a) 展示室 (b) 展示室他XingGarden (c) 常設「水上さんぽ」 「水上アクティビティ (WA)」	常設展示 ----->			----->			----->			----->		
		◆HRF		◆HRF			◆HRF				◆HRF	
	常設展示 ----->			----->			----->			----->		
	◆WA	◆WA	◆WA	◆WA	◆WA	◆WA	◆WA	◆WA				◆WA
【賑わい交流ゾーン】 (d) XingGarden (e) 新設フォーラム (f) パーティーその他	通常営業 ----->			----->			----->			----->		
		◆HRF		◆HRF			◆HRF				◆HRF	
	適宜開催 ----->			----->			----->			----->		
【ノルディック・ウォーキング協会】 (g) 定例イベント (h) ウォーキングイベント	水辺散策ウォーク ----->			----->			----->			----->		
	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆熊野古道	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆NWE	◆NWE
【大阪水上安全協会/大阪水上バス】 (i) 水上安全講習会 (j) 各種クルーズイベント	◆講習会 ----->			----->			----->			◆講習会 ----->		
【高水敷・テラス】 (j) フリーマーケット他 (FM) (k) BEER GARDEN	----->			◆FM ■試験運用 ----->			◆FM ----->			----->		

2013.07.15. より開始 更なる賑わい形成のための新体制

にぎわい Xing 新体制図



にぎわい Xing 新施設織図



- 展示スペース ……「情報発信」をコンセプトに、各種展示・PR 展示を展開
- 水上さんぼ展示 ……「水辺の開かれた交流拠点」をシンボリックに表現する展示 (常設)
- 門扉 ……「川を活用した水辺の活性化施策」を体現可能とする恒常的設備
- 多目的スペース ……「水辺のにぎわい」をコンセプトに各種イベントや、セミナー・フォーラムなどを展開
- ウォーキングステーション …「八軒家浜」を基点・起点とした、ウォーカーに向けた情報発信エリア
- バックヤード(会議室) …多目的な打合せスペース
- 管理運営事務局 ……「にぎわい Xing」施設管理 / 展示・多目的スペースの運営管理

